

クレジットカード

# TOOL **or** TRAP

金銭管理  
学習テキスト



Money  
Management  
Association

## はじめに

「お金」は、すべてではないけれど  
 「お金」は、なくてはならないもの。  
 そして  
 「お金」は、ただの紙や金属だけど  
 「お金」は、つき合い方を間違えると大変なことになるものです。

さて、この章では、「クレジットカード」について考えていきます。

いうまでもなく、「クレジットカード」はお金よりもワナにはまる可能性が高いものです。「クレジットカード」がきっかけになって「お金」のワナにはまることはよくあることです。そんな「お金」とクレジットカードは、どこが違うのでしょうか？

「お金」と「クレジットカード」は、明らかに形も違うし、なによりクレジットカードには金額が印刷されていません。でも「クレジットカード」は「お金」と同じように買い物の“道具”であることに違いはありません。違いは、「お金」が買い物したときにその場でサイフから出ていくのたいして、「クレジットカード」は後から出ていくというだけです。

ただし、この“後から出ていく”というのがくせものです。そのためクレジットカードをうまく使うには、「お金」とは違った工夫が必要になります。

この章では、クレジットカードの「TOOL(道具)」としての使い方・管理の仕方と、注意すべき「TRAP(ワナ)」について整理していきます。そのうえで「使わない」という選択も含めてクレジットカードとの上手なつき合い方を、あなた自身で考えてみてください。



## ① 道具としてのクレジットカード

クレジットカードは、お金と同じで使い方によっては人を幸せにもするし、傷つけてしまうこともあります。そしてクレジットカードによって負った傷は、人生に大きな影響を与えることもあります。便利な道具という意味では、言葉と少しにしています。

### 「言葉」という道具

私たちは、多くの道具を使いながら生活しています。例えばコミュニケーションに必要な道具は言葉です。はじめは1つ、2つしか知らなかった言葉が、少しずつ憶えていくことで数を増やし、「カタコト」だった使い方も、聞いたり話したりといった機会を通じて、だんだんとうまくコミュニケーションできるようになっていきます。

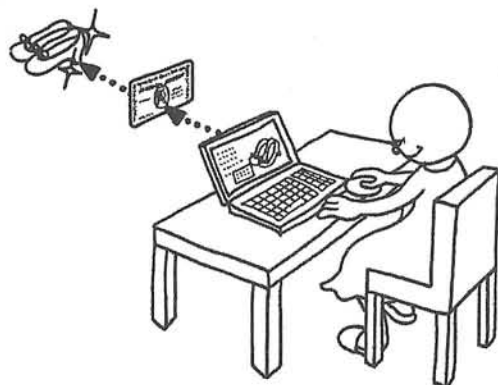
言葉が使えないのは、まったく不自由なものです。海外に行ったとき、その国の言葉を自在に使いこなせれば別ですが、たいていの人はコミュニケーションがうまくできないことの不自由さを実感するものです。

そんな言葉も、便利な道具である半面、使い方によっては相手を傷つけてしまったり、自分も傷つくことがあります。言葉が人の心に与える影響力はとても大きく、ときには幸せや感動を与える半面、命にかかわるほど人を傷つけてしまうことだってあるのです。「お金」や「クレジットカード」も同じです。

では、クレジットカードは使わないほうがいいのでしょうか？ もちろんそれも選択肢のひとつです。でも、クレジットカードがないと不便なこともたくさんあります。

例えば、高速道路の料金支払い用のETCカードはクレジットカードだから可能になるものです。携帯に組み込まれたクレジットカードも同じです。お金ではできない芸当です。

「お金」も「クレジットカード」も、幸せに暮らすための“道具”として使えるようにしたいものです。



## ② クレジットカードの基本

銀行やデパート、スーパーなど、いろんなところでクレジットカードを勧められます。「今なら年会費が無料です」、「〇〇ポイントをプレゼントします」など、魅力的な言葉についつい誘われそうになりますが、何を決め手に選べばいいのか、あまりにたくさんのカードがあつてさっぱりわかりません。

ビザ、マスター、JCB、アメックス、ダイナース・・・

デパートなどの名前が入ったカード・・・

普通のカードにゴールドカード・・・

ポイントにマイレージ・・・

年会費・・・

多種多様なサービス・・・

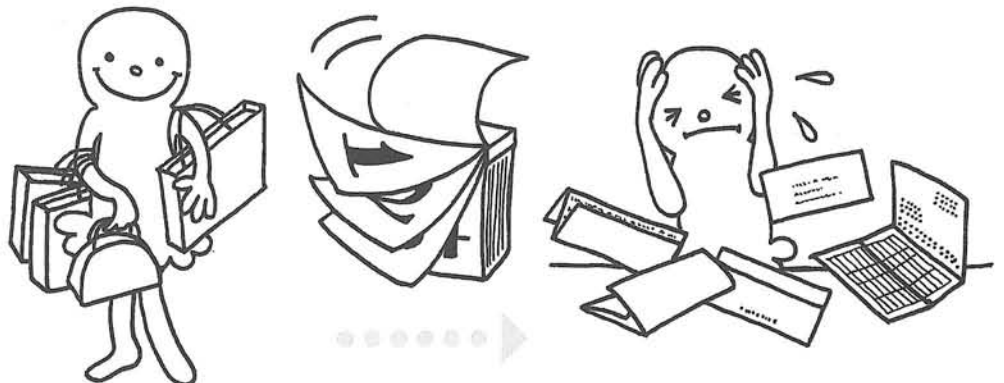
インターネットで検索すると、『クレジットカードの選び方』というホームページがたくさんあります。それでも、「私には、いったいどれが1番いいのか」と考えると途方にくれそうです。

しかしクレジットカードはたくさんあっても共通するのはこれだけです。

### 月に1度の締め日までの利用分を、後日の決められた日に支払う

このクレジットカードの特徴を利用することで、クレジットカードを持っている人は世界中どこへいっても、お金を持ち歩くことなく買い物ができます。また、この機能は使い方によっては、お金を使うよりほかに合理的な家計管理を可能にします。なぜならクレジットカードを使った記録は、必ずカード会社から請求が来ますし、支払いの記録は通帳に残るからです。

このことを踏まえて、クレジットカードの使い方として二つの方法をご紹介します。



## 3 クレジットカードを使い分ける

家計の支出にはいろいろな性格のものがあります。毎月必ず発生するものと突発的に発生するもの、金額が固定しているものと変動するものなど、いろんな分け方ができます。

これらの分類や費目ごとに1枚のクレジットカードをあてて管理すると、請求書を家計の記録の代わりに使うことができます。ここに例示した以外にも個々の家計に応じていろんな使い方があると思います。考えてみましょう。

### 1 食品関係

**食品は、よく行くスーパーのカードでまとめる。**

食費はどんな家庭でも、それなりのウエイトを占める支出です。分けると食材の購入費と外食費になりますが、それらを一括あるいは分けごとに管理できれば、1か月の食費が簡単にわかります。

しかもよく使うスーパーや百貨店があるのなら、そこが発行するクレジットカードが便利です。割引やポイントサービスが付いていたりします。また、食料品の購入の際はサインレスのお店が多いので利用も簡単で便利です。

### 2 自動車関係

**ガソリンや高速料金はガソリンスタンドのカードでまとめる。**

車を走らせるために必要な費用も1枚にまとめることができます。よく使うガソリンスタンドがあるのなら、そのクレジットカードを選択するのが便利でお得です。給油などの利用金額によってポイントサービスや割引があります。

さらにこのカードにETCカードをセットしておけば、ノンストップで高速道路の料金所を通過することもできますし、時間帯によって通行料の割引サービスも受けられます。

### 3 公共料金関係

**毎月支払う料金をカードでまとめる。**

電気、ガス、電話料金などを公共料金といいますが、これらに加えて携帯電話、インターネット、ケーブルテレビ、新聞などもクレジットカード払いができるようになっています。これらの支払いを1枚のクレジットカードにまとめておくと、1度の自動振替えで済み月々の変動も簡単に知ることができます。

### 4 お小遣い関係

**小額の利用も記録が残る。**

通勤時に立ち寄るコンビニや昼食代などの支払いを1枚のクレジットカードにまとめると、お小遣いの管理がわかりやすくなります。携帯電話に組み込まれたクレジットカードや電子マネーは、サインレスで使い方も簡単です。子供のお小遣い管理に電子マネーを与えている家庭もあります。

**注意**

毎月支払う料金関係をクレジットカード払いにする場合、その支払いをリボルビング払いにはいけません。これらの支払いは、その月に全額払うべきもので、翌月に繰り越すと自動的に借金を増やすことになるからです。

## ④ 1枚のクレジットカードに集約する

クレジットカードは、ビザ、マスター、JCB、アメックス、ダイナースといった国際ブランドがついていれば、どこのカード会社のものでも使える範囲に際立った違いはありません。費目ごとの管理の必要がないという方は、1枚のクレジットカードに集約して利用した方が、カード管理に余計な心配をする必要がなく便利かもしれません。

また、ほとんどの会社が提供している「ポイント」を効率的に貯めることができます。

ここであなたの手元にあるクレジットカードのポイントサービスを整理してみましょう。これから作ろうと思う人は、選択の参考にしてください。

付与率 (ポイントが付く条件)

カード名	5,000円の商品券相当分に必要ポイントA	そのために必要な利用額B	ポイント付与率 A/B

\*計算しやすいように商品券を基準にしました。商品券はポイント交換商品で1番人気があるものです。

\*付与率は、カード利用1,000円につき1ポイントが一般的です。

\*あくまでも一般的なケースですが、ポイントの付与率は0.5%程度です。これをどう思うかは使う人の価値観です。

\*航空会社と提携したカードの場合は、マイレージに交換できます。この場合の付与率は、マイレージで交換できる航空券を基準に考えると数倍程度になります。



家計簿に、クレジットカードの割引とポイントで稼いだものを記入しておく、現金生活に比べていくら節約できたかがわかります。

## ① 利息は、借りている期間と額に比例する

クレジットカードの支払い方法には、翌月一括払い、ボーナス一括払い、分割払い、リボルビング払いといろいろあります。一括払いは、買い物代金と同じ金額を支払うだけですが、分割払いとリボルビング払いは利息がかかります。

この利息は、買い物代金にプラスしてカード会社に支払わなければならないものです。つまりお金の生えた「オアシ」は利息が付いて少しむくむのです。

分割払いは買い物するときに回数を決めて、それに利息を乗せた分を支払うだけです。それほど難しくありません。これに対してリボルビング払いは、月々支払う額が買い物に決められるのではなく、カード会社に支払うときに決まります。

つまり、リボルビングは締切日の残高に対していくら支払うかを、あらかじめ決めておくところが特徴です。月々の支払い額を少なくしておけば、当然支払い期間は長くなります。また支払い途中で新たな買い物をすると残高が増えるので、なかなか全部を払い切ることはありません。

利息の計算は、以下の式が基本になります。

<1か月分の利息>

$$\text{元本} \times \text{年利率} \times 30 \text{日} / 365 \text{日} = \text{利息}$$

元本はそのクレジットカードの締切日における残高のことです。それに利率を掛けて利用日数分の利息を算出します。この場合は、1か月の利用ということになります。

リボルビングはショッピングもキャッシングも同じ計算式になりますが、ショッピングの利率は多くが15.0%で、キャッシングは多くが18.0%になっています。金利差は3.0%ということになりますが、これを元本10万円で計算すると、その月だけを見ると、246円しか違いません。

当然のことですが、利息は借りている額に応じて変動します。例えば年利15%の場合は以下ようになります。

元 本	1年分の利息 (元本×15%)	1月分の利息 (元本×15%×1/12)	1日分の利息 (元本×15%×1/365)
10,000円	1,500円	125円	4円
100,000円	15,000円	1,250円	41円
1,000,000円	150,000円	12,500円	410円
10,000,000円	1,500,000円	125,000円	4,100円

キャッシングでお金を借りるときは慎重になる人も、ショッピングだと案外そうでない人がいます。決して安い利息ではありません。



リボルビングを使っている人は、お金の余裕があるときに追加で払うようにしましょう。残高を減らせば、それだけ完済までの時間は短くなりますし、利息の負担も少なくて済みます。

## ② 「使いすぎ」に対するセルフ・セーフティガード

店員にすすめられるままに買った、およそ似合わないスーツ  
その気を起こして買ったけど、ほこりをかぶっている健康器具

クレジットカードを使っても、「お金」で払っても買い物に失敗はつきものです。しかし、クレジットカードを利用した買い物の失敗は買い物当日だけではなく、請求書が送られてきたときに、もう一度後悔を呼び起こします。そして支払い日には、さらに暗い気持ちに落ち込みます。

- 1か月遅れてやってきた失敗した買い物の請求が、その月の生活に響くような金額だったらどうしますか？
- もしキャッシングでそれを払うようなことをしたら、あなたはクレジットカードの「ワナ」にはまっています。

クレジットカードを持っていると、衝動買いをしやすくなるといわれています。また、クレジットカードを利用した買い物は、現金を利用したときよりも高額化する傾向があるといわれています。それはもちろん、サイフの中のお金が減らないからです。

もし、クレジットカードを持っているからといって、買い物しそうになったら、ちょっと考えてみましょう。



- それは本当に必要なものですか？
- サイフの中のお金と引き換えにしても欲しいものですか？
- その代金を支払えるだけの余裕は、確実にありますか？



クレジットカードに限りませんが、  
「買い物は、予算を決めて、しっかりと商品を選んで！」

### ③ 支払いが苦しくなったら、まず生活態度を見直す

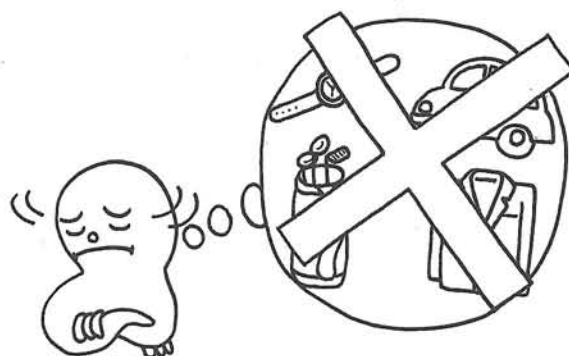
クレジットカードの請求書がきて、それを支払ってしまうと当月の生活が苦しくなるとしましょう。そんなとき、あなたはどうしますか？

将来の収入に「オアシ」を生やした結果ですから、その責任は誰にも転嫁できるものではありません。あなたが買い物をした結果、生活が苦しくなっただけなのです。とにかくその次の月の収入に「オアシ」を生やさないように節約して頑張るしかありません。もしそれがリボルビング払いだったら、節約の期間は長くなるかもしれませんが同じことです。

しかし、そんな我慢はそれほど簡単にできるものではありません。「いつか一戸建てを買いたい」といった大きな目標のためなら、切り詰めた生活や我慢も楽しいかもしれませんが、借金の返済のための我慢は、それが長くなればなるほど大きなストレスになります。それだけでなく、街には誘惑がいっぱいなのです。

我慢できずに「借りたお金を返すための借金」をしてしまうと、確実に傷口は広がります。目先の支払いのために借金することは、問題を先送りするだけではなく、問題を大きくしてしまいます。先送りの借金は、次の月にさらに利息が膨らんでしまうからです。つまり「オアシ」のむくみをさらに悪化させるのです。

「支払いが苦しい」と感じたら、とにかくすぐに生活態度を見直す。早ければ早いほど、我慢の期間は短くて済みます。それでも無理そうだったら、正直に話して誰かにアドバイスを求めることです。それは家族でもいいし、友人でもかまいません。何かいいアドバイスがきつとあるはずですよ。



リボルビング払いは、支払い途中に追加で利用すると、いつまでたっても支払いが終わりません。ボーナスのある人は、その都度全額支払ってしまいましょう。ボーナスで清算できる範囲で収まっていれば、傷口はそれ以上広がりません。

## 4 本当に困ったら法律が助けになることもあります

使いすぎたクレジットカードの支払いのために、切り詰めて我慢した生活を続けていたとしても、そんなときに病気になったり、事故にあったりすれば、たちまちニッチもサッチもいかない状態に陥ります。そうなったときには生活費を捻出するために、新たな借金を繰り返していることでしょう。

まさに道具だったはずのクレジットカードの「ワナ」にはまってしまったのです。こうなったら自力での生活再建はまず困難です。

絶対にこんな事態に陥ってはいけません。でも、もしこんなことになったら、どこかでその悪い循環から抜け出すしかありません。事態を冷静に見つめてみましょう。そして原因をもう一度考えてみましょう。

人生の目標を見失っていたのではありませんか？  
あなただけで悩んでいたのではありませんか？

しかし、ちょっと頭を冷やして見てください。返せないほどの借金を作ってしまったとはいっても、それはたんにお金のことで失敗しただけです。こんなことであなたの人生が終わってしまうわけではありません。リセットして再スタートすればいいのです。同じことを何度もしてはいけませんが、お金の失敗は一度だけなら許されます。

そんな覚悟が決まったら、法律はあなたに助け船を出してくれます。

### 債務整理のためのいくつかの手続き

任意整理

特定調停

個人民事再生

自己破産

\* いずれの場合もキャッシングで支払った利息は戻ってくる場合があります。



## 6 個人信用情報の利益と不利益

クレジットカードが道具になるか、ワナになるか、カードを持たない人にはまったく関係ありません。しかしカードを持ちたくても、持てない人がいます。カード会社はクレジットカードを発行するときに審査をしますが、その基準に合わないと発行しないからです。

審査というのはカードを申し込んだ人にどの程度支払い能力があるかを見極めることです。カード会社ごとに基準がありますが、最近改正されたクレジットカード関連の法律では、キャッシングに関しては年収に対して一定の残高があるときはカードの発行を禁じています。ショッピングに関しても同様の規定があります。

そこで活躍しているのが個人情報機関であり、その情報を取り扱っているのが個人情報機関です。個人信用情報は、ショッピングやキャッシングの利用に関する申込み内容や、支払い状況・残債額等に関する情報、延滞等の事故情報などの客観的な取引事実のことをいいます。

個人情報機関は、これらの情報を情報機関に加盟している会員(カード会社等)から登録を受け、照会に応じて提供する役目を負っています。このような業務を行うことによって、情報機関は次のような目的を達成しています。

- ① 消費者の支払い能力に応じたクレジット契約の実現
- ② 迅速な情報提供によるクレジット取引の促進

つまり、上手に個人信用情報とつき合っていれば、利用者に利益はありますが、逆の場合は不利益になることもあるということです。

個人信用情報の利益 —— 延滞等の記録がなくきちんと支払いをしていて、残高も家計のバランスから過大なものになっておなれば、カード会社の選択の幅も広がり、いつでもクレジットカードを利用することができる。

個人信用情報の不利益 —— 延滞等の記録があったり、残高も家計の収支バランスを崩すほど多い場合は、新たにクレジットカードを申し込んでも断られたり、現在利用しているクレジットカードの利用を制限されることがある。



## ① ネット取引の便利さと怖さ

インターネットを使うと、世界中のお店と取引することができます。しかしインターネットを使った取引では、カード番号を利用した“なりすまし”、といった犯罪に遭うこともあります。

- 1月前に、どんな買い物をしたか覚えていますか？
- 請求書を見たときに全部思い出せますか？

現金で買い物したときに、お釣りを確認しない人はいません。そして、間違っていたら文句をいいます。クレジットカードはお金と同じですから、同じようにしなければなりません。

クレジットカードを使う場合の確認は、次のようなことです。

1. 買い物のとき	買い物の代金と伝票の金額は合っていますか？ 間違っていてゼロが一つ多いといったことはありませんか？
2. 請求書がきたとき	利用伝票の控えと請求の内容を確認していますか？ 使ったおぼえのない請求は混じっていませんか？
3. 口座振替がすんだとき	請求書と同じ金額が振替えられていましたか？

この中で特に注意しなければならないのは、請求書が来たときです。クレジットカードはお金と同じですから、犯罪者はお金を狙うようにクレジットカードを狙っています。犯罪者にクレジットカードを利用されると、使ったおぼえのない請求がきます。こんな場合です。

1. 犯罪者によっていつのまにか偽造カードが作られて、本人の知らないうちにクレジットカードが利用されたとき。
2. クレジットカード番号と有効期限が犯罪者の手に渡って、インターネットや通信販売で利用されたとき。

使ったおぼえのない請求がきても、決してうろたえてはなりません。犯罪者に利用されたものを、払う必要はないからです。しかし黙ってはカード会社はわかりません。すぐにカード会社に連絡しなければなりません。そのときは、

「使ったおぼえのない請求がきている。この分は、わたしは払いません」といえばいいのです。

また使ってもいない分を払ってしまつては、犯罪者を喜ばせるだけのことになります。



**使っていないものを払ってはいけません。**  
そのためにも控えの伝票は請求が来るまで保管しておきましょう。

## ② クレジットカードー5つの約束

- 1 必要以上のクレジットカードは持たない。
- 2 キャッシングはできれば利用しない。クレジットカード決済ができない場面はそれほど多くないはずです。
- 3 リボルビング払いを使ったときは、月々の返済をなるべく多くし、早く借金が減るようにする。もし利用するときは、ボーナスの範囲までとしておき、ボーナスで必ず清算する。
- 4 公共料金などの毎月発生する料金を払うときは、絶対にリボルビング払いを利用しない。
- 5 ポイント目当てのクレジットカード利用は、それがどのくらい“得”になるのかよく考えてから。

**\*クレジットカードのいいところだけを使うのが“賢い消費者”です。**

### 著作権について

当テキスト内に掲載されているすべての情報（表紙、文字、写真、イラスト、マーク等）に関する著作権は特定非営利活動法人マネー・マネジメント・アソシエーション（略称MMA）に帰属します。また、テキスト全体も編集著作物として著作権の対象となっており、ともに日本国著作権法及び国際条約により保護されています。従って当テキストの全文または一部を当法人の許可無く転載、譲渡、頒布、販売するなど上記法令に反する行為は、これを固く禁止します。

当テキストの内容の全部又は一部について、私的使用又は引用等著作権法上認められた行為として、適宜の方法により出所を明示することにより引用・転載複製を行うことができます。但し、個人的な使用であっても著作権等に関するあらゆる表示を削除したり、テキストの内容の全部又は一部について当法人に無断で改変を行うことはできません。

上記以外に該当する利用に関しては、予め当法人へ書面によって申請し正式な許可を取った後でのみ、再利用し、複製し、再配布出来ます。但し、あくまでも利用者の誤解を受けるような使用方法はお断りします。

特定非営利活動法人

マネー・マネジメント・アソシエーション

（略称MMA）

（非売品）

